

2024年8月1日



我が国初となる「オンサイト型国家試験」を 金沢工業大学で実施いたしました。

2024年7月27日、一般財団法人電気技術者試験センター（以下「試験センター」）は、連携協定を締結しておりました金沢工業大学（石川県野々市市）にて、CBT(Computer Based Testing)方式による第三種電気主任技術者オンサイト型試験を実施いたしました。

このたびの連携協定は、その需要に応じ、学校施設等を利用して機動的に国家試験を実施する新たな取り組みを、金沢工業大学と試験センターが共同で行うものです。また、電気技術者試験の歴史の中で初めてとなる取り組みです。この「オンサイト型国家試験」を全国に展開して参ります。



金沢工業大学の**大澤学長**、**村井常務理事**をはじめとする大学の皆様のご協力を賜り、我が国初の実施となります「オンサイト型国家試験」は、成功裡に終えることができました。



金沢工業大学 大澤学長

「オンサイト型国家試験」の実施にあたり、試験センターからも堀尾理事長、山崎専務理事、荒井試験業務部部長の3名が表敬訪問と試験の視察のため、金沢工業大学を訪問いたしました。



(右から堀尾理事長、山崎専務理事、荒井試験業務部部長)



(関係者の皆様)

日頃より、電気技術者の育成にご尽力をいただいております、全日本電気工事業工業組合連合会の米沢会長と松橋常任理事のお二人が試験会場に来場され、実際の「オンサイト型国家試験」を視察されました。



村井常務理事(左)と米沢会長(右)

オンサイト試験は、学校や公共施設からのご協力により、全国各地に多くの試験会場の設営が可能となります。離島や過疎地などにも広げることができます。

また、CBT方式は、予め設定された期間内で受験者が試験日時と会場を選択できます。CBT方式とオンサイト試験を掛け合わせることで、より受験がしやすい環境を提供できるようになります。

試験センターは、今回得た貴重な知見をもとに、本実証事業の成果を全国に広めて参ります。